

トラ字と得ル過言分詞カケル前加ラ前ニ取ルト之事
事ニ得ル而不定法ノ通

リニ様ニエソノ上ニ終ルト事ヲ言フ事ニシテ此ノ事ニ
言フテ半過去ニシウテヨリモ他ノ取カヲ受ルト事
事ニ得ル
ト云フ事ハ
得ル

二運 其他於カ下カ目ヲ付ラレシバ又夫カ夫ハ
放カベカフサ
前置詞ト組ラレ

テアソノ此ノ働詞ノ働詞ニソフテ落ルト之事カ目ヲ付ラレシ
トテ言フ事ハベレヘカラ言フ事ハベケレヘシラズ
ベケレヘカラ事

ナカ等韻働詞キ有ル夫ハ彼ノ元韻ヲ始終
変ゼズニ保ツ所ノナカ
此働詞ノ

半過去カデヤ或トト之字ノ後加ニ因テ形造ラレ
夫ノ意味ヲ含ム部分ノ後ニノ

後加ニ依テ形造レバ而過言分詞カ單ナルトヤ或
トト之字ノ後加及ゲル前加ニ因テ

形造レバ 其故ニ上ニ記載カレバ任方ニテ
レニト之字ノ意味ヲ含ム部分ナル
ト之字ニ取ラレ

ト之字ニ取ラレ 其故ニ上ニ記載カレバ任方ニテ
レニト之字ノ意味ヲ含ム部分ナル
ト之字ニ取ラレ

スニク好執キ其ノ味トシテ味ヲ含ム部分ナル
ト之字ニ取ラレ

ト之字ニ取ラレ 其故ニ上ニ記載カレバ任方ニテ
レニト之字ノ意味ヲ含ム部分ナル
ト之字ニ取ラレ

ヲ養フ望シ而望メ等 夫ハ放カベカフサル前置詞ト
組ラレテアソノ此働

詞ノ分詞ニシウテノゲン前加ノ取退ニ就テ言レ
事カ又フテ前ハ有ル可有ル則受

名ハベトドトエズベシ子コカラ事

在働詞カ一部分ハ等韻働詞テ凡一部分ハ
等韻働詞テ凡

モ能ク差韻働詞ノ有様カラ時ノ經過ニ依テ
等韻働詞ノナカハ有ル

則ハ燒クハ燒シ昔ハハ燒シハ燒メ夫ハ
笑シ昔ハ笑シ笑メ

ルアメラ報セシ昔ハアメラ報セシアメラ
報シメ而多ノ他ノ者オ知アル

學者カ下ト目ヲ付メ差韻働詞カ有ルト
事ナシ而等韻働詞カ

大分ニ分テ彼根エカ夫ハ差韻働詞カラ
ミキ令レズ所ノ実名詞ニ属スル合サレテ

有ルト之事ナシ 其所ニハトハ打ツ打シ
打メスラフ凡 実名詞カラ取ル而キトカ

再ヒスラフニカラ(昔ハス所ゲン) 打シ
打メ 音ヲ音シ音ト之字カソフル 実名

来ル而キツト再ヒソイゲソフケツケ
等カカフ事

如斯者カ不規則動詞ト名付ラル、夫ハ
一ツ以上ノ 見込ニ於テ名付ラレル
種類ナク

例ノ造系統カラ尋ル所ノ如キ 而格
段ニ夫ハ種ニ働詞カラ一ツ迄一
所ニトカシ

ト云レテ元所ノキ 持シ不規則動詞ト
下 其故ニ人カ

ト云レテ元所ノキ 持シ不規則動詞ト
下 其故ニ人カ

ニソフテノスタアノシトテ字ヲ而我カ打我カ打ノ代ニキレシ

（カレテノ代リ）我カ呼（サレテ）サレタ（ゲルノ代ニ）スタアノ代ニテ字ヲ而我カ打ノ代ニキレシ

我カ立（立テ）立タ（ゲスルノ代ニ）ガアノ代ニテ字ヲ而我カ行（カゲテ）ノ代ニキレシ

行タ（ガケ）ノ代ニテ字ヲ而我カミル（ミレ）ノ代ニキレシ

ケノ代リ（シ）ノ代ニテ字ヲ而我カ夫ヲ指シ（ササ）ノ代ニキレシ

受ル所（ソ）ノ代ニテ字ヲ而我カ夫ヲ指シ（ササ）ノ代ニキレシ

二人称ニ於テ其他ノ動詞ノ通りニ様ニトテ字ヲ取又カケ其ルメケケノミナラス

彼カ得ル得ル而思（ト）ノ代ニテ字ヲ而我カ夫ヲ指シ（ササ）ノ代ニキレシ

不法法ニ於テ直説法ノ現在ニ於テヨリモ他ノ韻ヲアハスルメケケケケケケケケ

則働詞（ニ）ニテ而其外又種ノ入称ニ於テ種ノ韻ヲ持ツメケケケケケケケケ

引テ則（モ）ゲン我カ得ル汝カ得（キ）ニテ種ノ韻ヲ持ツメケケケケケケケケ

ト云字ヲ於他人ノ見込ニ於テ通例ノ規則カラ辨（）ル半過テアテ人稱

ニ傍テトテ字ヲ持ツテ辭シ夫不感（）ニ第二人稱ノ後ニ付加ハスル所

トテ字ヲ持ツトテ辭心則我カ得ル汝カ得ル彼カ得ル（）同ニ事カ我カ汝カ

彼カ持テヌタス（）考ル買フ（）ナラテ来ルトテ字ニ付テ的（）スル（）ン

不規則働詞ノ名取分ケ助詞カ負フ（）キヤ夫ノ助ヲ人カ配偶ニラウテハ

用元所ノ此働詞カ負フ（）夫ニ就テ殊（）ニシテ働詞カ得ル（）夫ハ（）ニ

等（）種（）働詞カラ組立ラレテアル所ノ通りニ（）様ニ用ヒラレ（）ル

得ル（）及ヘフ（）字カ不規則ト（）名乗リ得ル（）其改（）ハ（）ヘ（）

説法ノ現在ノ（）人稱カ（）ハ（）ヘ（）ノ（）働詞カ

テ道（）テ在（）ル（）而（）ハ（）下（）ハ（）ウ（）テ（）ノ（）半過（）テ（）ハ（）

テ（）ハ（）ウ（）テ（）テ（）テ（）ノ（）引（）縮（）カ（）メ（）カ（）ラ（）生（）セ（）レ（）テ（）

ノ（）不（）規（）則（）ナル（）事（）カ（）引（）彼（）ノ（）配（）偶（）ノ（）言（）（）テ（）

何（）テ（）人（）カ（）配（）偶（）（）因（）テ（）理（）解（）（）メ（）カ（）バ（）解（）

其（）内（）ニ（）夫（）カ（）ホ（）テ（）ト（）全（）ク（）働（）詞（）自（）ラ（）ノ（）変（）化（）

（）因（）テ（）而（）殊（）ニ（）其（）所（）ニ（）國（）詞（）カ（）有（）ル

ル所ノ國詞カ有ル然シテガラ我ノ國詞ニ在ル人カ其辭ニ在共ニ既ニ目ヲ付ル

ト通リニ他ノ動詞ノ助ノ要用ニ持ツ夫ハ此ノケカラノ助詞ト各付ル所ノ者也

テセテ教ニ於テ四ツ有ル則レニレニハツペンセイキ及ルル也 終リノ者カ多ク

段ニ受身動詞ニツウテ的當スル則レ受身ノ有様ニ於テ的當スル夫ハ我ノ國詞ニ於

テ入来全クノ關心所ノ受身ノ有様ニ於テ的當スル而此ノ動詞ノ助ニ因テオラテハ言ハ

能ハヌ エニレト云字カアラユル動詞ニツウテ未来ヲ言ハス事ノ為ニ用ツル則レ我

受スルデアラウ我カ愛セシムデアラウ我カ執行アラウ等 ヲベニト云字カ過去ヲ

見ハス事ノ為ニ用ツルヤラユル在掛リ動詞ニ於テノミテズ則レ我カ愛シク或受セシム

於又中性ノ大部分ニ於テ用ヒスル則レ我深クメ立ツル等 然レニカラ此諸事

カ次ニ於テヨリ明カニナルデアラウ

分詞カ最初ノ場所ニ於テ一ニノ説明シラ望ム如何トシハ夫ノツカ我ノ動詞ノ配

偶ニツウテ大ニ要用ノ者ナル故ニ説明スル 人カ夫ヲ尤ヨリノ動詞カラノ導シ先

形容詞トシテ書キ得ル夫ハツトラ彼カニツノ者ノ生質ニ持ツト云フヲ分ツ事ノ

為ニ分詞ノ名ヲ負フ所ノ形容詞トシテ之 彼カ我ニ於テニツル在掛リカ

詞則レ現在ニ而受ニ分詞則レ過去 最初ノ者カト云字ノ後加ニ依テ形使

ラレ、不定法ノ後ニ後加ニ依テ之則レ聞キル読ム 第ニテ者カトヤ或トノ置

キニ因テ動詞ノ意味ヲ合ム部分ノ後ニ置キニ因テ而ゲノ前加ニ依テ或又是

ノ後ニ得ル

ノ後ニ得ル

ノ後ニ得ル

ノ後ニ得ル

ノ後ニ得ル

ノ後ニ得ル

ノ後ニ得ル

ノ後ニ得ル

ノ後ニ得ル

ノ後ニ得ル

ノ後ニ得ル

ノ後ニ得ル

ノ後ニ得ル

ノ後ニ得ル

ノ後ニ得ル

ノ後ニ得ル

ノ後ニ得ル

直子ニ定ラレ見ハサル、所ノ千一カニ則我カ聞入商心、
ラフ等

使令法カ用ヒラレ、有ル命令ノ呼ヘニ近或又求マヤ引起セヤ或諫ヲ言ホス事ノ為
ニ用ヒラレ、如何トナレハ人稱カ夫ニ有ル命令ヤ求マヤ引起セヤ或諫カホス事ノ為

所ノ人稱カ現在ニテアル故ニ或ハ有ル事ト定メラル、
第二人称ノ外ニ單稱ヤ及複稱ニテテ的當セヌ、夫カ此ニ因テ他ノ法ニ傍ラホス

ル所ノ者ノ及對ニテテ勸詞ノ後ニ置ル、則聞ケ汝或ハ聞ケ此等、
ナリカ疑同法テアル夫ニ因テ物カ疑ハシク或ニ不タシカニ言ル、所ノ千一カニ夫ニ因テ願ヤ

約束ヤ許シヤ或進立カ言ホサル、所ニテ、
以テ見ル、夫ノ終リノ場合ニ於テ彼カ然ニテカラ接屬詞ニ属スセヌ又然ニテカラ彼
ノ上ニ置ラ極メノ不タシカニ於テ持ツ則彼カ生ケレ行カシ勸ラカシ彼カ何ヲ彼カヘド

大過去及未來ニ教ニ於テ去、
區別ヲ通シ合ニ持ツ話ニカケル、人而夫カラ話テ、所ノ千一カニ、
區別ヲ通シ合ニ持ツ而單稱及複稱ノ區別ヲ通シ合ニ持ツ

現在カカマドヲ見ハス夫カラ人カ話ス所ノ事カ夫ノ上ニ人カ話ス所ノ同ニ瞬間時ノ上ニ場
所ヲ持ツトテ、
半過去カ夫ハ以前ノ者ノ通リニ一様ニ勸詞自ラノ変化ニ因テ形造ラレ、所ノ半過去カ

夫カラ人カ話ス所ノ時ノ上ニツグ事ヲ定ムル、或取扱ヲ見ハス夫ハ於テモ他ノ者カ始ル
時全カラス過去テ在ル所ノ取扱ヲ、
セシニツグニ我カ彼ヲ我ノ前ニツグヲ見シ

夫カ人カ話ス所ノ時ノ上ニツグ事ヲ定ムル、或取扱ヲ見ハス夫ハ於テモ他ノ者カ始ル
時全カラス過去テ在ル所ノ取扱ヲ、
セシニツグニ我カ彼ヲ我ノ前ニツグヲ見シ

因テ、
與ヘメ受身勸詞ニ傍テハセイニ勸詞ノ多クケニ、
因テ形造ラレ、指シ示サレ時ニ於テ同

三分詞トハ結合ニ因テ之、則我カ受テ之而中は結合ニ因テハ一部分ハ之ニ助詞ノ

結合ニ因テ形造ラレ、一部分ハ之ニ因テ形造ラレ、然レテ其ノ結合ニ因テハ一部分ハ之ニ助詞ノ

以テノ則我カ仕事ノ多ク、飾夕置夕眠夕而我カ止、然レテ其ノ結合ニ因テハ一部分ハ之ニ助詞ノ

等(米)人カ通例、夫ハ受テヨリモ多クノ仕掛リヲ徴スル所ノ此ノ中俣働詞カ、

字ト付加ヘラレ、事ト云フ、夫ニ返シテ夫ノ意味カ、然レテ其ノ結合ニ因テハ一部分ハ之ニ助詞ノ

下付加ヘラレ、事ト云フ、然レテ其ノ結合ニ因テハ一部分ハ之ニ助詞ノ

大過去カ事カ既ニ全ク他ノ者カ始テモオヒニ既ニ全ク過去テアリト言事ヲ徴スル、夫カ

以前ノ時ノ通リニ同シ仕方ニテ形造ラレ、則、半過去ニ於テハ、ツヤ或セイニ助詞ノ

付加ヘラレ、事ト云フ、然レテ其ノ結合ニ因テ形造ラレ、則我カ仕事ノ多ク、

未カカツトラ徴スル物カ生スルデモ有フト言事ヲ徴スル而シテハ、助詞ト働詞ノ不定法

トノ配偶ニ因テ形造ラレ、則我カ仕事ノ多ク、然レテ其ノ結合ニ因テ形造ラレ、

レニ助詞ト不定法ノ過去ト、結合ニ因テ形造ラレ、所ノ第一ノ業カ、而物カ夫

公内ニ人カ話ス所ノ時ノ上ニ未カカツト云事ヲ徴スル、然レテ其ノ結合ニ因テ形造ラレ、

所ノ時ノ上ニ過去シテ有ルテアリト云事ヲ徴スル、則我カ仕事ノ多ク、

此ノ時ニ、ツヤカラカ又疑問法ニ於テ見ハル、彼所ニ最初ノ者カ、ツヤ徴スル物カ約束様

則極メノ上ニ未カカツト在ルト云事ヲ徴スル、則我カ仕事ノ多ク、

アロフ、第一ノ者カ、ツヤ徴スル物カ約束様ニ未カカツト有ク、ト云事ヲ徴スル、則我

カ為ニテモアロフ、後ニテモアロフ、時ヘテモアロフ、

以前ニ目ヲ付テ事ノ委ニキ説明シ、而國語部分ノ大切事ノ十分ナル顯シ、

我カ今配偶ノ一ニ例ヲツカシテ、就中、最初ノ場所ニ於テ、夫ハアラユル働詞ニ於テ

一見ハル、所ノ者トシテ、ハ、ヘ、セ、及セイ、助詞ト働詞ト、而其後仕掛リ有様

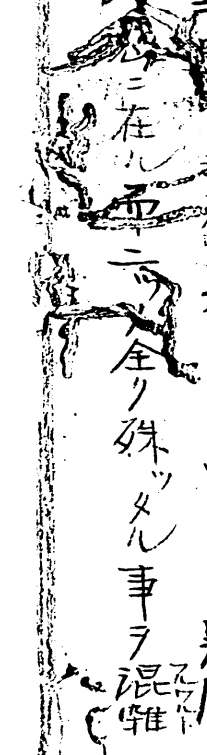
并ニ受テ有様ノ於テ、同流働詞、不同流働詞、就中、シカシ、

シカシ、助詞カ夫ハ、學ハレタ、語學者ノ目付ニ從テ、未カカツト、

内ニ在ル、此ニ夫ヲ見ヨ、例要ス、

多クノ文法書ニ於テ、ソウデト、直詠法ノ、

法ノ現在トシテ定マラル、然レ時此ノキメカ不線、



ス則他働詞ノ持付ニ違フ助詞トシテ夫ノ用ヒテ而夫ハ人ニ本立ニシテ元ヒル

終付ニ傍テ持前ニ有ル所ノ時マ及法ニニテ此ノ働詞ノ小部カ

トシテ考ル時ソウテト云字カ直説法ノ果通ナラバ他者テアラヌ

代リニ則人カ昔ハ用ヒラルベキ文字ノ入カニ後テ又ソルニ及サルニト言ヒシ

ニ就テイキ及ヘイサル現在ノ単称ノ身一人称及身三人称カ用ヒ内ニトニテ在ル

フルニト云字ニ就テ同流働詞ノ規則ニ後テイキソルルニ果高カ形造ラレ夫カラ其

用ヒラルベキ文字ノ入カニ後テイキソウテト云字カ生セズテ在ル所ノ者也

自分ヲ見ハスソウセイ及フセイ、ソウセイニテテ自分ヲミ、キムルニ

テ自分ヲミ、ソウセイ及フセイ、ソウセイニテテ自分ヲミ、夫ノ終リノ

他者ニ内テ自分ヲミ、ソウセイ及フセイ、ソウセイニテテ自分ヲミ、夫ノ終リノ

カダツトノ夫カラナリ立ツ夫ノ内ニ種々働詞カ一所ニ説シテラレテアルト云事

付ニ因テ形造ラレ夫ノ終リノ者ニ付テゲイ、ワルドエ、及セイ、ワレニト云字ニ

カ自分ヲ見ハス所ノ者ナリ、此ノウエセント云字ノ受シテ分詞カ不同流働詞ノ性質ニ後

テ用ヒラルベキ分詞カ同流働詞ノ法ニ後テ形造ラレ在ルニ用ヒテテアル

詞ノ配偶カ次ノ法ニテ出スル、然シテガフ、サツカ、單ニ形容詞トシテ用ヒル内ニ在ル

半過去トシテ書興ヘル、而イルドカ疑問法ノナリシト書興ヘル、然シテガフ

此ノ區別カ全ク隨意ニアル、而夫ハアル場合ニ於テ直説法及疑問法ノナリ

別ヲ知ラヌ所ノ國詞ノ性質ノ上ニ本ウヒテハアラヌ、ウヒル及イルトト

テ在ル最初ノ者カ昔ハ又教、直説法ニ於テ、人代トシテ

助詞ノ配偶ノ此ノ書興ノ後ニ我ニカ今則同流働詞トシテ

夫ハ人ニ本立ニシテ元ヒル

此ノ働詞ノ小部カ

他者テアラヌ

ソウセイニテテ自分ヲミ

夫ノ終リノ

夫ノ終リノ

夫ノ終リノ

夫ノ終リノ

夫ノ終リノ

夫ノ終リノ

夫ノ終リノ

夫ノ終リノ

夫ノ終リノ

夫ノ終リノ

夫ノ終リノ

夫ノ終リノ

夫ノ終リノ

夫ノ終リノ

夫ノ終リノ

夫ノ終リノ

於テ其他ノ働詞ノ配偶ヲ夫ハ其レノ助詞法ニ因リ本妻ニ配偶ヲ委ク知ラズ
ルテアテフ 最初ノ例ニテ一ツケニル同流働詞ノ例ヲツケカレハ後ニカハラズ如何
今多ノ説明ニ進格レセシニ不自流働詞ノ配偶ノ例ヲツケカレハ後ニカハラズ如何
トナレバゲトセニオレテハ受ミカ同流働詞ノ千一ト全ク一致スル故ニ仕掛ノ形ニ
於テツケカシ

配偶ノ上ニ書キ入ラレタル例カニ仕掛リ働詞テアル 所謂復帰働詞カ彼ノ配偶ニ
於テ格段ノ事ノ何モヲ持タヌ 又中姓働詞カ全ク仕掛リノ法ニ從テラニル者カ
過去及大過去ニ於テセイニ助詞ラヘツベント字ノカツトノ代リニ持ツノ而其故ニ此ノ
見込ニ於テ受ミト一致スル 又非人働詞ノ配偶ヲ夫カ彼カ第一人称及第二人称
稱ヲ自分ノ前ニ取ラヌカケ夫カケナラバ格段ニ區別スル事ノ何モ持タヌ
不規則働詞ニ就テ我ミカ共ニ我ノ舞形ニ向テ既ニ十分ニ言タ夫ノ他ノ箇ヲ用別ラ
知ラレテハナラヌ

組立ラレタル働詞ニ就テ

等第ニハ前置詞ト組立ラレ、則道エラム 渡ス 等第ニハ前置詞

組立ラレ、則受スル 受取ル 話ス 止ル等

働詞ノ二ツノ上ニ名付ラレタル種類カ過去分詞ニ於テト事ヲ取ル而不定法ニ於

テテト云字ヲ前ニ取ル則防タエラニダ 防ク事 エラム事 等而平過去分

テ我カ防キシエラニシ等ト懸音ノ ハニドリノ等ナル 詞カ夫故ニイツモ働詞ト

結付ラレテアル 然レニカヲキツクハ何時テモ前置詞ノ事ニ込場所ヲ持タヌ我カ

今格夫ヲ委ク指シテサ子ハナラヌ通リニ場所ヲ持タヌ

前置詞ト組立ラレタル働詞カ夫ハ話シカケニ傍テ句調ヲ働詞ノ意味ヲ合ム部分

ノ上ニ受取ル所ノ前置詞トシ 彼ノ前置詞ヲ始終自分ノ前ニ保ツ則受スル事

受取ル 満足スル 我カ受セシ 受取リシ 満足セシ等 各付ラレテ而多シ如前

置詞カ不可放ル 前置詞ト各付ラレ、事ハソカラナリ

前置詞ト組立ラレタル働詞カ夫ニ及ミテ夫ノ話シカケニ傍テ句調カ前置詞ノ上

落ル所ノ働詞カ配偶ニ於テ彼ノ前置詞ヲ 夫ハ此ノ置詞カ放ツベキ前

置詞ノ名ヲ負ス所者 則話ス事 我カ話セ 止タ 我カ止リ

等

終リニ夫ニ執テ終必ツトカ目ヲ付ラズバナラズ又
詞ニ傍テ句ヲ今働詞ノ上ニヨリテ前置詞ノ上ニ落ルル事カ目
カ最初ノ場合ニ於テ働詞ノ配偶ニ傍テ分ル、終リノ場合ニ於テ夫ト共ニ終
ラレテ有ル 其故ニ人カ受ル事我カ受ル 受レ後ニ後ニ及レテ行事我カ行
行ニ行イカト云フ 同ニ遠ヒカ自分ヲ見ハス 思慮スル事ニ於テ我カ思慮
思慮セシ思慮シタ而秤ナラス 我カ秤ナラス 秤ナラセシ秤ナラシクニ
保ツニ於テ 思慮スル而外ニ置リ遣ヒ残ス而討カワ而多ノ他ノ者ニ於テ自分
ヲ見ハス意味ノ區別カ上ニ書キテ先ニ詞ニ於テ著シク在ル則オニデルガア
而オニデルガアニ上ニ書キテ進行クオフル平ニ思慮スル而オニデル平ニ終一度秤
等

○副詞ニ就テ

今所謂ヨリ少キ文章ノ部分ニ近夫ハ只ニ不可曲ク事ヲ痛ク合ニ持所ノ
章ノ部分ニ近ウアリ行ツ我カ最初ノ場所ニ於テ副詞ニ記事セキ事
此ニ

此ニ此ヲ此ノ詞カ負フ夫ハ働ノ種類或模様ヲ受ヤ或有様ニ就テ言ハス事
ノ為ニ用立ツ或又性質ノ委シキ言ハス事ノ為ニ用立ツ此ノ詞カ負
フ 彼カ取分テ働詞ニ傍テヨル而時トシテハ又形ノ詞ニ傍テ来ル
例ヲ見ヨ我カ 彼カ 彼カ其所ニ多ク友カテ持ツ 小見カ
ヨリ生長スル 我カ實ニ快キ道途ヲナシタ
人カ副詞ヲ彼ノ意味ノ遠ヒニ後テラビタシキ種類ニ言ハス事
ヲ年短ニ書キ共ニ事ノ為ニ場所ノ副詞ニ於テ區別スル則 此
他所 或所 トヨモ何ニセヌ等 今朝 何時 何時モ
時ノ副詞ニ於テ則 昨日 今日 明朝 始終 何時 何時モ
今 然ル時 當テ 決テ等

分量ノ副詞ニ於テ則 多クワカ十分等
模様ノ副詞ニ於テ則 善ク 悪キ等
極メノ副詞ニ於テ則 左様 右様 等
ウチノ副詞ニ於テ則 否 在 決メテ等

疑ノ副詞ニ於テ則スル恐クハハ心リハ等

順序ノ副詞ニ於テ則最初 其後 終リニ等

列諸ノ副詞ニ於テ則一度 數ニ 始終 通リニ等

區別ノ副詞ニ於テ則只ニ格段ナル等

聚ノ副詞ニ於テ則一所ニ兼テ 同シニ等

指示ノ副詞ニ於テ則左様 其故ニ 則ニ等

同ノ副詞ニ於テ則トノ様 何故ニ等

又彼ノ根元ノ事ニ迄副詞カ 夫ノ或モ分根元テアル或 左ナリトモ著

シカラズ他ノ詞カフ導レテアル則此処ニ其所ニ否 左様 箇様ニ等

他ノ者カトキトモ字ノ後加ニ因テ形容詞或実名詞カフ形造ラレテ在ル則則恐ク

著ク 再ヒ他ノ者カ第ニ格テアル則 在ニ否ニ 日ノハ 左ノ右ニ等 多

ノ者カ形容詞ナラズ他ノ者デアラ又夫ハ働詞ニ傍テ或又他ノ形容詞ニ傍テ置シ

フノ副詞ノ生所見テ取ル所ノ形容詞ナラズハ之ニ則我カイニ此ノ男カ

賢ク或又ラレク話ス速ニ流ル川ニ等 他ノ副詞カ終リニ多クノ詞

カラ組立ラレテアル或又引縮ノ言不テアル則 始終 數ニ 決テ 決テ

メニケイニ云字カ一ラケイニ云字カフ種変テアル而キツトカ再ニ引縮ニ傍テニ

ケイニノ代リニケイニ或ケイニニ等 此ノ終リノ者傍テ終ルカ目ヲ付テ

レ子ハアラ又其処ニ夫ハ副詞トシテ用ヒラル所ノ種ノ詞アルト云事カ目ヲ

假令ハ最初ニ 建ニ 日ノハ 等

多クノ副詞カ又下メノ楷級ヲ持ツ則紙書カ昨日ヨリモ高ク行クカ

カ自介ヲヤルノ諸人ノ身持カラ尤賢ク自介ヲ持ツ

前置詞ニ就テ

而ノ実名詞ノ間ノ関係或又働詞也及実名詞ノ間ノ関係ヲ是レ不

為ニ人カ詞ヲ用ユル夫ハ前置詞ノ名ヲ負フ所ノ詞ヲ用ユル 如何トシハ彼カ通例

実名詞ノ前ニ置ル故ニ 又前置詞カ 實名詞而形容詞ト並ニ働詞ト組

立ニ於テ用ヒラル 終リノ場合ニ於テ彼カ百也此章也等ニ於テ言シタルカラ

ニ明カナレシ通リニ或ハ放ルベク或ハ放ルベク等 在ル

前置詞ノ用ヲ 種ノ関係ノ見ハニ 迄 説明ス事ハ為ニ我カ是処ニ決

ナル例ヲツカシムルデアラフ彼カ已シトテ頭置ニ置カズ
大將カ己ノ固カ如ク尤強勇ナル甲カラズ
為セシホニデルノ詩篇カ高上テアル我カ明朝所ニ行ク尚親ノ関系ト
カビノ子供ニ送ノ関系カ尤親切ニ而セヤウカハ事ノ人ナリ

前置詞ノ用カ他ノ詞トノ組立ニ於テ次ノ例方ヲ明カナリ得ル
而夫カラ道ナレタルコムスト及ニミズル実名詞カアノ下ニ字ト組立ラル、ア、ニ、フ、
ム、ア、ニ、コムストニ於テア、フ、ム、ニ、字ト組立ラル、ア、フ、ム、ニ、字ト組立ラル、ア、フ、ム、ニ、
ト、ニ、コ、イ、ニ、ウ、ム、ニ、イ、ニ、コムストニ於テオ、ニ、ト、ニ、字ト組立ラル、オ、ニ、ト、ニ、字ト組立ラル、
オ、ニ、ト、ニ、字ト組立ラル、オ、ニ、ト、ニ、字ト組立ラル、

詞カ自介ヲ目ニ付スル則テ、ニ、デ、ナム、バ、ガ、ム、オ、ニ、キ、ル、ジ、フ、ル、ケ、ス、ト、ニ、於テ、
離タルベカナル前置詞ノ事ニ也我カ於テ目ヲ付ル、或者カ十分ル感ニテ
以テ同様ニ委有ラレテハ、ナ、ラ、ヌ、ト、云、事、ヲ、目、ヲ、付、ル、如、何、ト、ナ、レ、
組立ニ於テ見ハレ又故ニ名付ラレテハ、ニ、其、処、ニ、也、
コ、ト、云、字、カ、属、ス、ル、則、返、答、ス、ル、考、ル、道、守、ル、再、知、ス、ル、不、信、用、
ウ、チ、消、ス、ル、

何ガ終リニ格ヲ受ルカ夫ハ離ルベキ前置詞カ彼ノ置ニ傍ニ置カズ
前ニ支配スル所ノ格ヲ受ルカ夫ニ就テ人カ阿蘭陀ノ國詞ノセイタキスラ読
メ此ノ舎中ニ因テ出板目サレタセニタキスラ読メ百十九章

就接属詞
ニツ以上ノ物體或例ヲ互ト結付ル事ノ為ニ而格段ニ文章オ或又全文
章ノ種ノフレラ互ト結付ル事ノ為ニ人カ多分不可曲シテ而多分小語ヲ
用ユル夫ハ此ノ彼ノ用ノワケカラノ接属詞ノ名ヲ履テ所ノ小語ヲ用ユル

例カ此ノ詞ノ性質及用ヒテ、
及神信カ、
己ノ勤ヲ成就タ故ニ、
アル、
人カ接属詞ヲ彼ノ種ノ用ヒノ度ニ、
カ多クノ説キ明シニ也、
重ナル者ヲ手短ニ、

醉釋ノ阿蘭、
神カ人ノ造物者、
知、
夫故ニ此ノ男ノ勤テアル夫ノ命、
種ノ種類ニ於テ、
夫カラ我、

徵候テアル、
善キ信用ヲ惠ミタル事ヤ、
何トハ彼カ、
夫故ニ此ノ男ノ勤テアル夫ノ命、
種ノ種類ニ於テ、
夫カラ我、